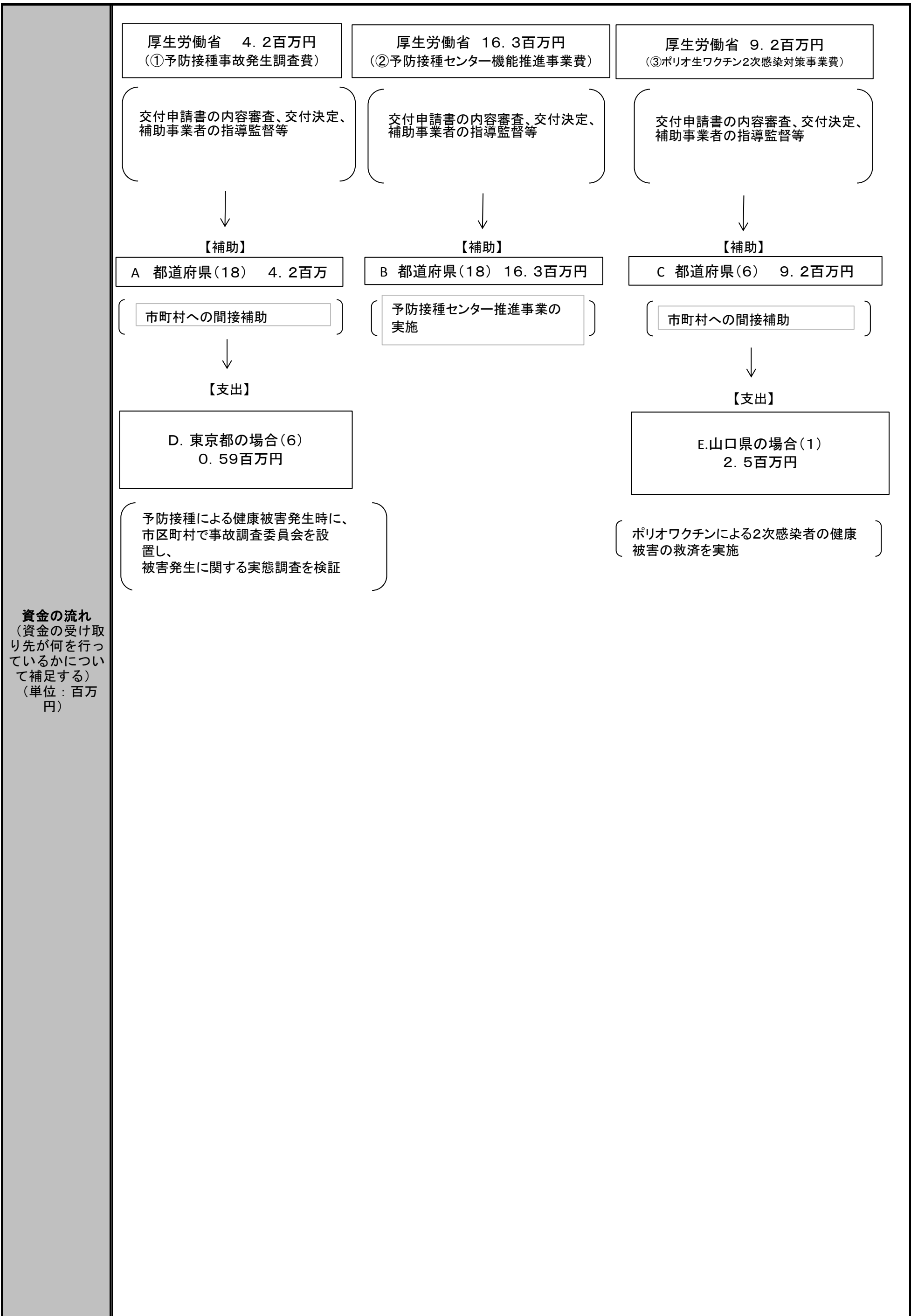


平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	予防接種対策費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和52年度	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 正林 督章			
会計区分	一般会計	政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	・「予防接種法及び結核予防法の一部を改正する法律の一部等の施行について」 ・「予防接種法の一部を改正する法律等の施行について」 ・「予防接種センター機能推進事業の実施について」 ・「ポリオ生ワクチン2次感染対策事業の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①予防接種事故発生調査費: 予防接種による健康被害発生時における実態の調査・検証を実施すること。 ②予防接種センター機能推進事業費: 予防接種を受けやすい体制の充実を図ること。 ③ポリオ生ワクチン2次感染対策事業費: ポリオワクチンにおける2次感染者(間接触感染者)の健康被害を救済すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①予防接種事故発生調査費: 予防接種による健康被害発生時に、市区町村で事故調査委員会を設置し、被害発生に関する実態調査を検証するもの。 ②予防接種センター機能推進事業費: 予防接種の専門医を配置した医療機関の接種体制を充実させることで、接種体制の整備や相談事業、医療の安全性の向上を図るもの。 ③ポリオ生ワクチン2次感染対策事業費: ポリオワクチンによる2次感染者(間接触感染者)の健康被害を救済するもの。 (補助率 ①2/3 ②1/2 ③2/3 )						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	31	26	26	26	56
		補正予算					
		繰越し等					
		計	31	26	26	26	56
		執行額	26	26	29.7		
	執行率(%)	83.9%	100.0%	114.2%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	予防接種センター機能を各都道府県に設置し、予防接種に対する安全性の向上や国民への情報提供を通じて国民への理解や安心感を高める。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	予防接種センター数	活動実績 (当初見込み)	施設	17 (17)	18 (17)	18 (18)	- (18)
単位当たりコスト	904,833(円/施設)	算出根拠	予防接種センターに係る実績額を予防接種センター数で除して算出。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	疾病予防対策事業費等補助金	26	56	箇所数及び単価の見直しに伴う増			
	計	26	56				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく接種の安全な接種体制の確保・事故調査対応等への対策であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。また、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく接種の安全な接種体制の確保・事故調査対応等への対策であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく接種の安全な接種体制の確保・事故調査対応等への対策であり、優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく接種の安全な接種体制の確保・事故調査対応等への対策を実施するための合理的な支出となっている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく接種の安全な接種体制の確保・事故調査対応等への対策を実施するための補助金であり、真に必要な費目を対象経費としている。		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく接種の安全な接種体制の確保・事故調査対応等として、他により効果的なものはない。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	ほぼ当初見込みどおりの活動実績となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	予防接種センター機能を有する医療機関を中心に、安全な接種体制を確保する施設として十分に活用されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	感染症の発生・まん延を防止するため、予防接種法に基づく安全な接種体制の確保や予防接種事故調査対応への対策として、これまでも見込みどおりに実施されており、引き続き、事業を円滑に実施するために予算額の確保が必要である。 平成24年度は予防接種センター設置数が18という状況であり、今後さらに設置数を増やしていく必要があり、そのための予算額の確保が必要である。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	予防接種事故発生時における実態調査や専門的知識・技術を有する予防接種センターを設置し、予防接種対策の推進を図るものであるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	125	平成23年	105	平成24年	81



資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位: 百万  
円)

A.			E.山陽小野田市		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			医療費	ポリオワクチンによる2次感染者の健康被害の救済	2.5
計		0	計		2.5
B.静岡県 * 負担率1/2のため国費相当に按分			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	予防接種センター機能推進事業費	1.6			
計		1.6	計		0
C.山口県 * 負担率2/3のため国費相当に按分			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	ポリオ2次感染による健康被害者に対する特別手当の支給	2.5			
計		2.5	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	予防接種事故発生調査費	0.59		
2	兵庫県	予防接種事故発生調査費	0.52		
3	大阪府	予防接種事故発生調査費	0.39		
4	滋賀県	予防接種事故発生調査費	0.36		
5	千葉県	予防接種事故発生調査費	0.24		
6	熊本県	予防接種事故発生調査費	0.2		
7	北海道	予防接種事故発生調査費	0.16		
8	島根県	予防接種事故発生調査費	0.13		
9	広島県	予防接種事故発生調査費	0.11		
10	高知県	予防接種事故発生調査費	0.11		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	静岡県	予防接種センター機能推進事業	1.6		
2	茨城県	予防接種センター機能推進事業	1.4		
3	栃木県	予防接種センター機能推進事業	1.4		
4	大阪府	予防接種センター機能推進事業	1.4		
5	兵庫県	予防接種センター機能推進事業	1.3		
6	三重県	予防接種センター機能推進事業	1.3		
7	岩手県	予防接種センター機能推進事業	1		
8	滋賀県	予防接種センター機能推進事業	0.9		
9	岡山県	予防接種センター機能推進事業	0.8		
10	千葉県	予防接種センター機能推進事業	0.8		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山口県	ポリオ生ワクチン2次感染対策事業	2.5		
2	長崎県	ポリオ生ワクチン2次感染対策事業	1.7		
3	北海道	ポリオ生ワクチン2次感染対策事業	1.7		
4	宮崎県	ポリオ生ワクチン2次感染対策事業	1.4		
5	大阪府	ポリオ生ワクチン2次感染対策事業	1.4		
6	兵庫県	ポリオ生ワクチン2次感染対策事業	0.6		
7					
8					
9					
10					

D. 東京都の例

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	渋谷区	予防接種事故発生調査費	0.18		
2	中野区	予防接種事故発生調査費	0.12		
3	練馬区	予防接種事故発生調査費	0.09		
4	板橋区	予防接種事故発生調査費	0.09		
5	多摩市	予防接種事故発生調査費	0.06		
6	杉並区	予防接種事故発生調査費	0.05		
7					
8					
9					
10					

## E.山口県の例

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山陽小野田市	ポリオ生ワクチン2次感染対策事業	2.5		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					